



昭和28年、北斎生まれ。美濃部翁政の時、公務員試験を受け、墨田区配属になる。以来19年、建築指導、京島まちづくり、営繕、一言言問まちづくりと歩いてきた。

長身。しっかりとした骨格。いつも部下に鞭を卷かしているが、笑うと細い目が更に細くなる。ここぞと思ったところでは、後には退かない頑張り屋だ。京島でまちづくりの勉強をし、営繕では向島中学の和風体育館を手でける。

宮口氏が担当になったこの3年間は、まちづくりにとって重要な時期であった。旧墨堤之道、有季園と事業は進んでいたが、一言会と行政の立場の違いで、会議はギクシャクしていた。

「これでは、今まで通りの行政指導型のまちづくりだ。住民参加のまちづくりではない。」陰鬱な空気が流れた。この危険な状態を乗り越えられたのは、事業を取り巻く地域の人たちの理解と協力。遠くから支援を送ってくれた人たち。「自分たちのまちは自分たちでもっと良くするんだ」という一言会の熱い思い。その思いを受け止め直した宮口氏ら行政の努力があったからだと思う。

「行政不信とか住民不信とか言いますよね。僕は対立だなんて思わない。お互いをよく知って、お互いのテリトリー(領域)を認められた上で、解決方法を探す。地域にふさわしい解答が必ずあるはずです。」広い背中に自信のようなものが見えた。(純)

まちづくり用地だった、高田製薬跡地



朗報です。東向島一丁目二十番の高田製薬跡地(約三百坪)をまちづくり用地にすることが二月二七日、区と東急不動産の間で合意に達しました。一言会は、防災まちづくりをすすめるにはどうしても必要な土地であるとかねてから区に取得を要望してきました。その願いがようやくかなうことになりました。同跡地は、長年空き地として放置されてきましたが、昨年六月に東急不動産が買収し、五階建てのマンションを計画しました。一言会は、同社に区への売却の検討を強く要望しましたが、同社の方針は変わらず、十月の理事会では涙を飲んで取得を断念しました。そして少しでも防災まちづくり計画の方針に近いものに関係計画を改善してほしいと、東急不動産に十項目の要望書を提出しました。東急不動産との協議は、東向島一丁目中町会と東向一南町会とわいわい会が担当になり

昨年十月から今年一月まで計三回行いました。一言会が要望したのは、①集会所の寄贈 ②防災設備の整備 ③避難用道路の確保 ④地域に調和したデザインなど。これに対して、東急不動産は計画を一部修正し、防災まちづくりへの協力の姿勢を示しましたが、集会所の寄贈などいくつかの点について問題があり、一月十四日に再度要望書を提出し、協議を続けることになっていました。同跡地は、防災活動の拠点に位置づけられている一寺小と言問小の間の木造密集地にあり、一言会は防災まちづくり計画の中で、ここを一寺小と言問小を結ぶ防災用道路「一寺言問之道」の整備用地として、また防災広場用地として利用したいと考えております。今後、区と協議しながら、計画の実現に向けて検討していく予定です。

願いがかなった!

高田製薬跡地がまちづくり用地に

東急不動産、マンション計画をやめて区に土地を売却



安心とつるおのり下町「川の手」をめぐって

防災 まちづくり 瓦版

発行 一言言問と防災のまちにする会

一言言問 / 防災まちづくり瓦版

第24号 平成3年3月1日発行

編集 / 一言言問と防災のまちにする会 編集員 高橋純子・若木菊枝・木田佳男・木田文代

編集協力 / マヌ都市建築研究所

発行 / 一言言問と防災のまちにする会 事務局 墨田区都市整備部開発促進室内

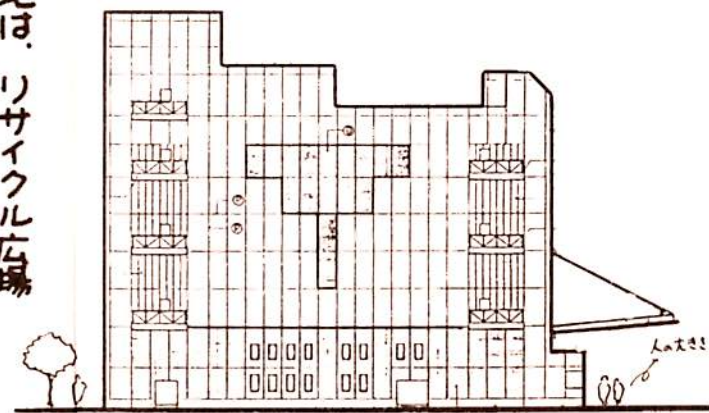
〒130 墨田区吾妻橋1-23-20 Tel.(5608)1111

まちに配慮した倉庫にして！

アサヒビルに計画の再検討を要請

墨堤通りのアサヒビル専用貯場に、八階建て相当の巨大な倉庫が計画されています。一言会は、計画が明らかになった昨年の九月以来、アサヒビル及び称島建設(設計・施工)に防犯まちづくりへの協力を要請し、協議を重ねてきました。その結果、墨堤の緑を再生し、スロープ堤防にするために地盤を上げることに加えて、

- ①11m車利用の人工地盤計画の廃止
→スロープをつくり、利用は3m車まで
- ②縦の線を強調し、変化のある壁面デザインへの変更
- ③床面積を2000㎡減少↓計画床面積は20000㎡などの改善がなされました。しかし、一言会は、法的に満足していても、妥当であるといえないとして、計画の再検討をアサヒビルに要請しました。



墨堤通り側の立面図(裏面に南側からみた立面図掲載)

アサヒビルに要望した三項目

- (1) 高さ30m以上の倉庫が長さ130mにわたって壁のように建ち、ものすごい圧迫感がある。ヒューマンスケールでつくられた私たちのまちに配慮して、全体のボリューム(容量)を小さくしてほしい。
- (2) 建設地はかつて大倉別荘に建てていた文化的に由緒のある場所。貴社が文化に力を入れるなら、たとえば倉庫といえども、もっとレベルの高いデザインにしてほしい。
- (3) 黒田川は近い将来、緩斜堤防になり、市民に親しまれる場所になることが期待されている。黒田川に背を向けるのではなく、川にも正面を向けた建物にしてほしい。

衆会の続編を世田谷で開催

三月九日に下北沢で「まちづくりフォーラム91」

昨年三月に一言会が中心になって開催した「防災まちづくり衆会・すみだし」は、都内各地のまちづくり団体が一堂に集い、各地区が独自にすすめてきたまちづくりが、はじめて共通の場で語られた貴重な機会だったと喜ばれました。

そこで、まちづくり衆会のような集いを今後も継続的に持ちたいと、世田谷区の三つのまちづくり団体の呼びかけで、第二回のまちづくりフォーラムが開催されることになりました。

一言会も実行委員会の一団体として企画・準備・運営に携わり、二つの間のまちづくりの成果を発表する予定です。

まちづくりフォーラム'91・せたがや

- 日時：3月9日(土)12:00~18:30
- 会場：北沢タウンホール
(世田谷区北沢2-8-18 Tel.5478-8000)
- 企画：テールデスカッション/まちづくり展示会/まちづくり交流会
- 問い合わせ：一言会事務局 Tel.5608-1111
(内線3913)



2月2日の実行委員会には、副会長と建築事務所長が出席

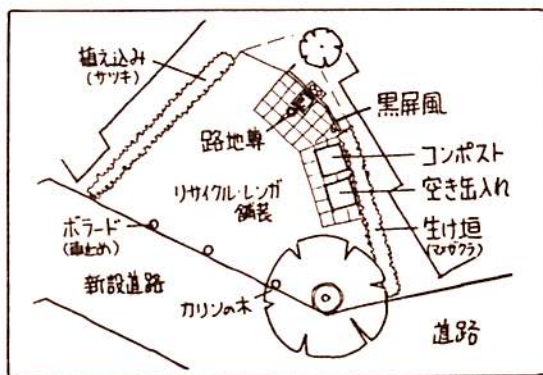
向島有季園 平成三年度の利用者決まる

2月17日に向島有季園で公開抽選会が開かれ、平成三年度の防災菜園利用者4名が決まりました。当選倍率は2倍。

区画名	利用者氏名	住所
めじろ	横山 幸男	東向島1-33-13
すすめ	久保田松子	向島5-49-4
しらすぎ	市川 右近	向島5-21-6
ほと	植竹モト	向島5-35-14
つぼめ	木村 裕子	東向島1-22-8
かもめ	内野久美子	東向島1-10-20
せきれい	今村 邦人	東向島3-22-8
みやこどり	紙谷 平子	東向島1-18-14
しじゅうから	森 富子	向島5-21-7
ほととぎす	矢部 兼英	東向島1-6-14
こじゅけい	黒田 誠一	東向島1-13-13
じゅうまつ	龜ヶ谷京子	東向島1-21-13
ちどり	嶋崎 昇二	向島5-34-9
うぐいす	石橋 康人	向島5-34-5



△上から見たまちづくり用地



△リサイクル広場の計画図

一言会の副会長は、「墨田区リサイクル都市づくり懇談会」に参加し、雨水のリサイクル装置としての路地帯を紹介して頂きました。同懇談会では、先端答申をまとめ、その中で路地帯をリサイクルの拠点として区内に広げていくことが提案されています。

路地帯＝リサイクルのシンボル

コンポストや空き缶ストックも

東向島三丁目のN.E.C.百花寮の裏に区が取得したまちづくり用地の利用計画が二月四日に開かれた周辺住民と一言会の協議会で確定しました。

テーマはリサイクル。雨水のリサイクル装置でもある路地帯を中心に、落葉を集めて堆肥をつくる装置(コンポスト)

や空き缶を貯めておく箱が置かれます。

また舗装は下水道の活泥を使った煉瓦を使用し、ポラド(車止め)に木製の電柱を再利用するなど、材料にもリサイクルの考え方が貫かれています。地域の町会(東向島宮元町会)を中心にリサイクル活動への取り組みの動きもあり、この広場の利用を契機にそうした活動が一層活発になることが期待されています。

(完成イメージ図は裏面参照)

